

クラス番号	608	担当教員名	田中 千枝子
テーマ	医療と福祉を事例で考える		
著書・論文 研究課題等	『医療福祉ソーシャルワーク論』勁層書房（2015） 『保健医療ソーシャルワーク～アドバンスト実践のために～』中央法規(2017) 『介護・福祉の支援人材養成・開発論』勁草書房（2017） 「生活困窮者への健康支援」『社会福祉研究』鉄道弘済会（2016） 翻訳責任編集 AKadushin & F.Harkness 『スーパービジョンインソーシャルワーク第5版』（2017）中央法規 など 保健医療 SW 退院計画と包括ケア エンパワメントとナラティブ スーパービジョン		

ゼミナール概要

キーワード：事例研究 ソーシャルワークプロセス エコマップ タイムライン

目的、内容、方法等：

本ゼミは将来ソーシャルワーカーとして実践的に動ける専門性の基礎を作ることを目的とします。その意味で P SW志望なのかMSW志望なのかという選択の考え方ではなく、2つともまたそれ以外でもソーシャルワーカーという相談職になりたいという強い気持ちがあればゼミ仲間として歓迎します。

その方法として、ゼミ仲間との交流や外部の関係機関や多職種との討議や連携・協働の体験を通じて、基本的なコミュニケーション能力を養成します。また多様な領域の社会福祉の知識について事例を通じて学びながら、その必要な情報を収集し、専門的なアセスメントを仲間と討論する訓練をしながらソーシャルワークを実施する体験を行います。それらを通じて人として支援することの重要性と困難性を考察しつつ、専門職としての能力形成にさらに邁進できるように、一人一人がソーシャルワークの魅力に気づけるといいなと考えています。

方法としては、3 年生前期にはソーシャルワークの基礎知識と技術の獲得に必要な基礎的学習を進めつつ、コースのイベントそして多職種カンファレンスを実施するための様々な活動を行います。多職種に話を聞くようなフィールドワークやゲスト講師を交渉し講義をコーディネートすることを学ぶなかで、地域社会の中ではどのような仕組みで支援体制が成立し、その中でソーシャルワーカーはどのように動いているのかについて、具体的な事例を通じて学びます。3 年生の夏にはゼミ合宿を、各地の病院や大学との交流を目的に、卒論発表会もかねたものとして行います。3 年生後期ではSW実習を行っていた後、自分が体験した事例を支援のための事例として整理し提示する訓練としてプレゼンテーションを行い、ゼミ仲間と一緒に実際の事例を理解することをスーパービジョンとして行います。15 名全員の事例を各自 1 回 1 件ずつ担当します。4 年前期には各自専門実習や就職活動・国試準備を行いながら、卒論を仕上げてしまうことを目的に 4 本柱でゼミを実施していきます。4 年後期には国試と就職活動、実践の準備のため、月 1 回先輩との事例検討会であるケーススタディクラブの参加とつながります。そのため一般企業に就職するとか、国試を受験しないとかがというメンバーがでると、ゼミの進行に乗りなくなる恐れがあります。その場合ゼミ仲間の協力と個々人の対処の努力が必要となります。

授業計画：

3 年生前期：基礎的 SW の知識と技術の獲得のための事例検討 ケースカンファレンス企画・実施を通じた多職種連携のためのフィールドワークと話し合いを柱に

3 年生後期：ゼミ合宿を挟んでSW実習の結果を展開し、1 人 1 回事例のスーパービジョンを受ける 実際の実践を体験する

4 年前期：専門実習の準備と実施、就職活動、卒論作成、国試準備の 4 本柱で仲間と一緒に合同勉強

4 年後期：卒論と専門実習の修了により、残った就職活動と国試準備、就労準備としての先輩との実践共有

担当教員からのメッセージ

毎年 多くの方々が「ちえゼミ」を希望してくださって、ありがたいと思っています。 皆様のソーシャルワークを学びたいと言う熱意に答えたいと、いろいろ工夫しながら日々考えているところです。

最近ゼミ開始の頃から、また実習をするようになって、ソーシャルワーカーにならないとして、就職を一般企業のみで選択する人がやや増えているのが気になります。皆さんの自己決定なのでそれを尊重したいのですが、せっかくの出会いをより有効なものにするためのゼミ選択なので、ぜひ慎重に考えて選択してください。